

# 地域 コミュニティ かわら版

## 鎌形区

区長 杉田 廣吉

鎌形区は、戸数208戸で5つの地区、21の隣組があります。この地区には、歴史的な由緒ある建物や言い伝えがあります。その一つが平安初期に創建された鎌形八幡神社です。木曾義仲が産湯につかったとされる清水が湧き出ており、また嵐山町指定文化財である貞和の懸仏が保存されています。区では年間の行事として草刈りや清掃を行い、祭事として元旦祭や新嘗祭ほか祭事を行っています。班溪寺では、山吹姫のお墓があります。また、今年はお釈迦様が亡くなられた様子が描かれた涅槃

図が披露されました。恒例の行事のひとつに「鎌形夏まつり」があります。今年は、8月12日(日)に、嵐山町立幼稚園(旧鎌形小学校)で行われました。催物としては、盆おどり、模擬店、駒主太鼓・嵐の演奏、ピースの出演、園児のおどり、竹の流しそうめん、終わりに花火など盛たくさん企画され、鎌形こども会、嵐山町立幼稚園、園児、PTA、老人会、鎌形消防団、各種事業所の方々の協賛、協力のもとで実施されました。鎌形区の区民が一緒に集い、楽しく過ごせる貴重な催しであると感じております。

観光スポットとしては、嵐山渓谷があり春夏秋冬さまざまな美しい景観と共にバーベキュー場では、



大勢の観光客が訪れています。南北老人会では、ゲートボールやグランドゴルフを行っています。又、「たのしみ会」としてボール体操や基礎体力作り、ゲーム、ハンドベル、手芸等企画され会員どうしの親睦を深めると共に体力づくりを行っています。今回は鎌形区の一部の紹介となりました。区民は、古き良きものを守り、こころ豊かに、いきいきとして暮らせる区づくりをめざしてがんばっています。

## 勝田地区

区長 松本 憲一

まずは勝田地区のちよつと変わったところを2つ紹介します。

一つはもともと地続きであった勝田内郷と高倉地区が花見台工業団地造成によって2分している事です。特に不便は有りませんが、このため集会所は2か所有ります。

もう一つは大字広野の1番地は勝田にあります。そして150番地位まで勝田地区にあり、配達業者が戸惑ってしまう事もあります。何故この様になったか正確な事は分かりませんが、一説には、昔博

打(バクチ)に負けたからとも言われています。この小さな区ですが、昨年の町民体育祭に続いて今年も優勝という快挙を成し遂げました。地続きでないと言いましたが心は完璧に通じ合い、年配者も若者も一丸となって楽しく、元氣よく勝ち得た勝利です。春は勝田ふれあい祭りを開催、焼き鳥、豚汁、ビンゴゲーム、輪投げ、チンドン屋ほか、いろいろな食べ物、ゲームを用意しみんなで1日楽しく遊びます。高倉は夏の祭りがあります。区民一人一人が協調性を持ち何事にも絆をもって行動しています。これが勝田です。

